

令和4年度 第4回磐田市地域公共交通会議 議事録

日時	令和5年3月24日（金）9時30分～10時00分
場所	磐田市役所 西庁舎 301会議室
出席者	<p>委員</p> <p>川口 宗敏（静岡文化芸術大学名誉教授） 寺田 幹根（磐田市議会議長） 原田 光一郎（中部運輸局静岡運輸支局） 松林 花奈（静岡県交通基盤部都市局地域交通課）【代理】 鈴木 剛司（磐田警察署交通課）【代理】 鈴木 亨（袋井市理事兼総務部長） 大澤 房男（磐田市自治会連合会副会長） 大岡 美奈子（磐田市城山・向陽地域包括支援センター長） 平谷 均（磐田商工会議所専務理事） 山下 六機（磐田市老人クラブ連合会副会長） 山下 建二（公募委員） 諸井 宏司（遠州鉄道株式会社運輸事業部長） 佐野 弘幸（秋葉バスサービス株式会社代表取締役社長） 田中 友親（遠州鉄道労働組合副執行委員長） 高橋 由利子（磐田市副市長）</p> <p>事務局 鈴木自治市民部長 地域づくり応援課：伊藤課長、榊原主査、大沼主任、鈴木主事</p>
欠席者	<p>内海 孝久（静岡県袋井土木事務所企画検査課長） 富田 倫代（磐田市民生委員児童委員協議会副会長） 藤田 守康（静岡県タクシー協会西部会竜東支部代表） 榊原 正之（遠鉄タクシー株式会社常務取締役兼運行営業部長）</p>
傍聴者	0人
議案等	<p>議案第1号 磐田市地域公共交通計画の策定について 議案第2号 磐田市デマンド型乗合タクシーの運行内容の変更について</p>
会議記録	<p>1 開会</p> <p>（事務局） 皆様おはようございます。ただいまから、令和4年度第4回磐田市地域公共交通会議を開催いたします。私は本日の進行を務めます、地域づくり応援課の鈴木と申します。よろしく申し上げます。会の開催に先立ちまして、本日の資料の確認をお願いいたします。事前に郵送させていただいた資料としまして、</p>

- ・本日の次第
- ・議案第1号 磐田市地域公共交通計画の策定について
- ・議案第1号説明資料① 磐田市地域公共交通計画（案）
- ・議案第1号説明資料② 磐田市地域公共交通計画に対する意見募集について（結果）
- ・議案第1号説明資料③ 磐田市地域公共交通計画意見シート
- ・議案第2号 磐田市デマンド型乗合タクシーの運行内容の変更について

本日、机の上に追加でお配りしてあります

- ・座席表
- ・名簿
- ・令和5年度 磐田市地域公共交通会議スケジュール案

以上ですが、資料がない方はいらっしゃいますか。

ここで、出席委員について御報告します。御手元の委員名簿で委員名簿4番の静岡県地域交通課長の平野様、委員名簿5番の磐田警察署交通課長の中村様は、本日は所用により、代理で、静岡県地域交通課の松林様、磐田警察署交通課の鈴木様に御出席いただいております。お配りした委員名簿では、太田様となっておりますが、本日は鈴木様が御出席となります。

また、委員名簿の6番静岡県袋井土木事務所企画検査課長の内海様と、委員名簿12番磐田市民生委員児童委員協議会副会長の富田様、委員名簿16番の静岡県タクシー協会西部会竜東支部代表の藤田様、委員名簿17番の遠鉄タクシー株式会社常務取締役の榊原様は欠席となります。

それでは御手元の次第に従いまして議事を進めてまいりますので、御協力をお願いします。次第の2、川口会長から挨拶をお願いします。

2 会長あいさつ

（会長）

本日は、年度末のご多用の中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

また、日頃は、磐田市の交通行政、ならびに本会議の運営に、ご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本日は議案が2件となっております。

協議事項としましては、「磐田市地域公共交通計画の策定」、「デマンド型乗合タクシーの運行内容の変更」となっています。

特に「地域公共交通計画の策定」につきましては、昨年から2年間にわたり委員の皆様と計画内容について慎重に協議を重ねてまいりました。また、今年1月20日から2月20日にかけてパブリックコメントを実施し、地域住民から貴重なご意見を頂戴しました。パブリックコメントの内容につきましては、この後、事務局より説明がございますので、ご確認ください。

本日が計画策定の最後の協議となります。委員の皆様から承認が得られましたら、完成の運びとなります。今後の磐田市の公共交通の方向性を示す重要な会議となりますので、委員の皆様からの活発なご意見をいただきながら、円滑な会の進行にもご協力いただけますようお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。それでは、次第の3、協議事項に移ります。本日の委員の出席は半数を超えておりますので、磐田市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項の規定により、本会議が有効に成立していることを御報告申し上げます。ここからは、要綱第5条第1項の規定により、川口会長に議事の進行をお願いいたします。それでは川口会長、議事の進行をお願いいたします。

3 協議事項

(会長)

それでは、協議事項に入ります。議案第1号「磐田市地域公共交通計画の策定について」、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

資料議案1号を御覧ください。磐田市公共交通計画の策定について、本日協議をお願いいたします。説明資料①は計画の最終案となります。先ほど会長からもありましたが、本日御承認をいただいた後、市長決裁に諮り、完成を予定しております。説明資料②はパブリックコメントでいただいた意見とその回答となっております。説明資料③は、前回お示しした計画からの変更点をまとめたものとなります。

初めに、前回の計画案からの主な変更内容を、説明いたします。説明資料①計画案の9ページを御覧ください。9ページの下段に2つのグラフを追加しております。これは、【参考：年齢別人口の推移】として、公共交通を使う可能性の高い70歳以上の高齢者の人口の伸び具合と、15歳から19歳の通学にバス等を使う方の人口の減少が見える化したグラフでございます。下段のグラフは、【参考：公費負担の推移】としまして、公費負担額の推移を図示し、見える化しております。年々公費負担が増加している状況のグラフを追加しております。

続きまして、17ページ18ページを御覧ください。公的補助バス路線等一覧ということで、それぞれバス路線の必要性和、どの補助金を使うかを表にまとめております。

続いて30ページを御覧ください。【評価指標1-2】バス路線の収支率の最後のところに、「公費負担額と合わせて」という文言を追記しております。これは、運輸支局様の御助言により、国庫補助の担保となる計画であるため、追記しております。同様に31ページ、【評価指標2-2】デマンド型乗合タクシーの収支率の文章の最後にも同様に、収支率と公費負担を合わせて評価していくという内容に追記させていただいております。主な変更内容は以上でございます。

次に、パブリックコメントの結果について、説明資料②を御覧ください。パブリックコメントは、1月20日から2月20日の約1か月間実施いたしました。市民の皆様からは、6名の方から10件の御意見をいただいております。既にホームページで市の考え方を公開させていただいております。この内容について説明します。1番目の意見は、20代男性からいただいた意見です。「SDGsの観点から、誰もが使いやすい公共交通の実現を目指してほしい。公共交通とまちづくりの発展をともに考えて、人が集まる磐田市にしてほしい。」といった意見をいただきました。市の考え方としましては、本計画は、学生や高齢者、障がい者

の方々からも意見を聞きながら策定を進めてまいりました。また、都市計画マスタープランなどのまちづくり分野の計画と連携を図りながら、磐田市の発展や、人が集まるまちの実現に努めていきたいと考えています、と回答しております。

2番目は、40代女性からいただいた意見です。「バス利用者数の増加、収支率の改善を目標指標としていますが、通学通勤の便数など、通学のしやすさも考慮してほしい」といった意見をいただきました。市の考えとしましては、利用者数や、収支率の目標を達成するためには、便数やダイヤなどの運行内容の見直しを検討し、通学のしやすさについても考慮していきたい、と回答しております。

3番目は、60代男性からいただいた意見です。「市民満足度の向上に向けた計画でよい。市民に寄り添って計画されているのでうれしく思う」といった意見をいただきました。市の考えとしましては、運転免許返納後の移動手段の確保などにより、引き続き市民の満足度の向上に努めていきたい、と回答しております。

2ページの4番目から6番目の意見は、50代女性からいただいた意見です。「デマンド型乗合タクシーよりもコミュニティーバスを再検討してほしい」といった意見でございまして、料金体系や運行ルート、乗換えポイントなどについて、意見をいただいております。市の考え方としましては、デマンド型乗合タクシーは、主に高齢者の通院や買物等の移動手段として、年間延べ3万6,000人を超える利用があり、利用者の54.1%の方が満足、やや満足と感じていただいていることから、市民の移動手段として定着していると認識している。路線の検討については、計画に示した、磐田市が目指す将来の公共交通体系に基づいて、新規路線検討フローを参考に進めていく、と回答しております。

3ページの7番目から4ページの10番目までの意見は、福田地区からいただいた4点の意見となります。7番目の「鉄道駅とバス路線の連動」につきましては、既存バス路線の維持と豊田町駅と御厨駅からの新規路線の実現により、鉄道輸送を含む地域公共交通体系の構築に努めていきたいと回答しております。

8番目の「袋井市とのバス路線の検討」につきましては、今後、本計画とは別に、広域計画等策定する際に研究していきたいと回答しております。

9番目の「新規路線の推進体制」につきましては、持続可能な公共交通を維持するためには、その地域の利用者の確保が必須であると考えていることから、地域の声を聞きながら、新規路線等の検討を進めていきたいと回答しております。

4ページ10番目の「福田地区の公共交通」については、本計画で示しました、ボランティア運送や、地域輸送資源の活用調査の内容を回答しております。以上がパブリックコメントの結果となります。

次に、計画の概要を再度説明いたします。細かい内容の説明は、10月の会議、12月の会議と大きく変更がございません。それでは、説明資料①の計画案の13ページ、14ページを御覧ください。基本方針としましては、「暮らしの安心と人が集まる磐田市の未来を創る公共交通」としまして、市民の生活交通の確保、磐田市に訪れる来訪者の交通利便の確保に取り組んでいきたいと考えています。具体的な事業としましては、バス路線の維持、新規路線の検討、デマンドの維持に加えて、ボランティア運送の支援、これらに取り組んでいきたいと考えております。15ページ16ページを御覧ください。磐田市が目指す将来の公共交通体系の通り、各公共交通の位置づけを念頭に置きまして、既存公共交通の維持を図りながら、新規路線の検討やボランティア運送の支援に取り組んでいきたいと考えております。33ページ、34ページを御覧ください。この計画を推進していくために、計画の評価をしていきたいと思っております。毎年7月頃に本公共交通会議を開催

し、モニタリングシートを使って事業の実施状況や今後の展開の方針を確認します。あわせて、35 ページのモニタリングシートにありますが、路線ごとの利用者数や収支率、公費負担額などを確認しながら計画を進めていきたいと考えております。最後に繰り返しになりますが、令和5年度から本計画の基本方針に基づきまして、市民や来訪者の移動手段の維持確保を目指しまして、既存公共交通と公費負担のバランスを考えながら事業を推進していきたいと考えております。説明は以上です。

(会長)

ただ今の事務局からの説明につきまして、御意見御質問等があればお願いいたします。

(山下建委員)

17 ページ 18 ページのところでは公的補助の一覧がありますけども、そこを色分けして視覚に訴えてみたらどうかと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局)

ありがとうございます。御意見のとおり、バス路線とデマンド型乗合タクシーを色分けして、もう少し分かるように工夫したいと思います。

(大岡委員)

以前この場で、遠鉄カードとTOICA、Suicaなどの交通系カードとの連動を質問させていただいたときに、難しいというお話でしたが、15 ページの図にあるように、公共交通というのはやはり連動していくととてもいいことだなと思いますし、現在、高齢者の外出意欲が多くなってきています。パブリックコメントの回答にもありましたが、交通弱者として高齢者が挙げられていて、人口の3分の1は65歳以上になっていることを考えると、外出の意欲を高める、楽しく外出していただくためにも、やっぱりカードを使って乗り降りが簡単にできるような連動が少しあってもいいかなと思うこともあります。包括支援センターに、デマンド型乗合タクシーと公共交通の両方を使いながら目的地に行く方法はあるかという問合せもあります。スマホを使ってらっしゃる方が、80歳以上の方でも随分増えてきていることを勘案すると、アプリみたいなもので、そういったものを楽しく外出意欲を高めていくものも必要ではないかなと思いました。

(事務局)

ありがとうございました。健康寿命の延伸をすることが、これからの磐田市にはとても大切なことだと思います。そういった認識を公共交通の担当者もしっかり持って、これからの具体的な事業の推進の中で生かしていきたいと思っております。

(会長)

それでは、議案第1号「磐田市地域公共交通計画の策定について」、合意していただける方は挙手をお願いいたします。

(委員15名中15名挙手) 合意事項といたします。

続いて、議案第2号「磐田市デマンド型乗合タクシーの運行内容の変更について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

議案第2号資料を御覧ください。磐田市デマンド型乗合タクシーの運行内容の変更につきまして、新たに指定施設の追加を行いたいと考えております。磐田南部地区の指定施設にいさか内科・消化器内視鏡クリニックの追加となります。運賃は、地区内施設ですので400円とし、開院に合わせて令和5年6月5日からの実施を考えております。説明は以上です。

(会長)

ただ今の事務局からの説明につきまして、御意見御質問等があればお願いいたします。

それでは、議案第2号「磐田市デマンド型乗合タクシーの運行内容の変更について」、合意していただける方は挙手をお願いいたします。

(委員15名中15名挙手) 合意事項といたします。

本日の議題は以上となります。会の円滑な進行に御協力いただきましてありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しします。

4 その他

(事務局)

川口会長、委員の皆様、ありがとうございました。次第の4、その他に移ります。副市長から一言お願いします。

(副市長)

本日は、最後の地域公共交通会議でございますので、一言御挨拶を申し上げます。本日、御承認いただきました磐田市地域公共交通計画の策定につきましては、川口会長から大澤副会長をはじめ、委員の皆様方から多大な御協力と的確な御指摘を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。この計画については、期間5年間でございまして、そこまでは方向性が定まったところでございますけれども、地域交通については市民の皆さんから非常に要望が多い分野でございます。今からこの計画の次のことを考えながら、様々な施策の準備をしていかなければならないと、所管課も気を引締めているところでございます。引き続き、本分野に関しての御理解御協力を賜りますよう、よろしく御願ひ申し上げます。

最後に、この場を借りまして、御報告申し上げます。私は、3月30日をもって磐田市副市長を退任いたします。本当にお世話になりました。ありがとうございました。1年9か月の短い期間ではございましたが、皆様の温かい、御意見やお考えを直に感じる事が出来まして、非常に貴重な場となりました。所管課につきましても、課名の変更や若干の職員の異動もございすけれども、引き続き頑張っておりますので、よろしく御願ひいたします。本当にありがとうございました。

(事務局)

続いて、本日追加でお配りした令和5年度磐田市地域公共交通会議スケジュール案を説明します。委員の皆様が5月30日までになっておりますので、6月に委員の改選となります。改めてご依頼を差し上げますので、よろしくお願いいたします。来年度の磐田市地域公共交通会議は、第1回目は、フィーダー計画の承認を急ぎ行いたいと思っておりますので、書面開催を予定しております。6月に委員改選をしまして、7月に、第2回の公共交通会議、ここで、地域公共交通計画にある検討部会等を立ち上げ、9月、11月に検討部会を組織し、12月に第3回の公共交通会議をお集まりいただき開催したいと考えております。この12月の会議の中で、検討部会での検討内容の報告をさせていただきたいと考えております。年明けてからは、必要に応じて会議を開催していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、先ほど副市長からもありましたが、来年度から、地域づくり応援課は自治デザイン課へ名称が変わりますので、御承知をお願いいたします。

最後に、全体を通しまして御質問等はございますか。

(中部運輸局静岡支局)

議案第1号の公共交通計画ですけれども、内容が確定しましたら、確定した内容に概要書を添えて、国土交通省と総務省に提出することになっておりますので、その手続をお願いしたいと思います。

(事務局)

本日は、貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございました。

以上で、本日の議事はすべて終了

5 連絡事項【事務局】

次の開催日程について（令和5年5月開催予定）

閉会